

第 59 期
年 次 報 告 書

(2018年4月1日から)
(2019年3月31日まで)

fligan

愛眼株式会社

証券コード 9854

株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2019年3月31日をもって第59期事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済情勢の不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、景気の先行きは不透明な状況が続いてまいりました。また、個人消費につきましては、相次ぐ自然災害や株価下落などにより、消費者マインドは弱含んだものの、雇用・所得環境の改善を背景に持ち直しの動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループは、競争力を強化するため、お客様に支持・信頼される店づくりとブランド価値の洗練化を図ることで、成長軌道の一段高いステージへのステップアップと企業価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、主に眼鏡小売事業の既存店売上が前期比で僅かながら上回ったものの、売上高は16,231百万円（前期比0.7%減）と若干前年を下回り、売上総利益率は、主に品種別の売上構成比の変化によって0.3ポイント減少しました。一方、経費面では、経費コントロールの徹底に努めたことにより、販売費及び一般管理費は10,977百万円（前期比1.0%減）となりました。この結果、営業利益は224百万円（前期比6.2%減）、経常利益は307百万円（前期比3.0%減）となりました。また、特別損失として減損損失54百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は165百万円（前期比8.9%減）となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は次のとおりです。

【眼鏡小売事業】

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、眼鏡専門店として永年培ってきた快適な視力・聴力補正を提供する安心の技術、高い専門性を要する納得の商品提案力と接客・サービス力の全てが結集した愛眼ブランドの競争優位性の強化に努めてまいりました。

商品につきましては、「目の健康」をテーマとして、お客様の幅広い年齢層の多岐にわたるニーズに対応した快適で機能的な高付加価値商品を開発することで、品質・価格の両面で競争力があり、お客様満足度の向上に繋がるお買い得商品の

品揃えの拡充とマーチャンダイジングによる販売促進を進めてまいりました。

売上高につきましては、競争環境の激化の影響もあり、低価格帯商品の販売数の減少等により伸び悩みました。品種別では、サングラスは販売促進に努めましたが、前期比で若干減少しました。一方、補聴器は、お試しレンタルサービスとアフターケアがお客様よりご好評を頂いており、引き続き順調に推移しております。

店舗につきましては、不採算店を中心に6店舗を閉店し、既存店の活性化を目的とした改装を15店舗で実施いたしました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は15,464百万円（前期比0.5%減）、セグメント利益は315百万円（前期比4.4%減）となりました。

【眼鏡卸売事業】

眼鏡卸売事業につきましては、取引先に対する新商品の投入や販売支援に努めるとともに、新規取引先の開拓に取り組みましたが、売上高は467百万円（前期比2.4%減）となり、セグメント利益は1百万円（前期比38.8%増）となりました。

【写真館事業】

愛写館3店舗を営む写真館事業につきましては、成人式振袖レンタルキャンペーン、卒業式袴レンタルキャンペーンを始め、お子様向けにはお出かけ用七五三着物レンタルキャンペーンや小学校卒業式袴レンタルご相談会開催に注力するとともに、通販サイト「EC SHOP 愛写館」などにより新規顧客の集客・拡販に努めましたが、競争激化により厳しい状況が続いております。

この結果、写真館事業における売上高は152百万円（前期比6.0%減）、セグメント損失は44百万円（前期はセグメント損失39百万円）となりました。

【海外眼鏡販売事業】

海外眼鏡販売事業につきましては、中国での競争環境が引き続き厳しい状況にあるなか、採算の改善に努めておりますが、フランチャイズ店舗数の減少も影響し、売上高は146百万円（前期比6.6%減）、セグメント損失は13百万円（前期はセグメント損失13百万円）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 下 條 三千夫

企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第56期 (2016年3月期)	第57期 (2017年3月期)	第58期 (2018年3月期)	第59期 (当連結会計年度) (2019年3月期)
売 上 高(百万円)	16,563	15,957	16,344	16,231
経 常 利 益(百万円)	210	11	317	307
親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円)	43	△390	181	165
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円)	2.24	△20.11	9.34	8.50
総 資 産(百万円)	17,334	16,773	16,849	16,686
純 資 産(百万円)	14,438	13,991	14,171	14,223
1株当たり純資産額(円)	743.90	720.88	730.18	732.86

株式の状況 (2019年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 60,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 21,076,154株
 (自己株式1,667,879株を含む)
 (3) 株 主 数 22,157名
 (4) 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2,138 千株	11.02 %
愛 眼 共 栄 会	928	4.78
愛 眼 従 業 員 持 株 会	748	3.86
株 式 会 社 瑞	635	3.27
佐 々 栄 治	616	3.18
佐 々 千 恵 子	442	2.28
佐 々 善 二 郎	375	1.94
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信託銀行株式会社(信託口)	352	1.81
野村信託銀行株式会社(投信口)	340	1.76
下 條 三 千 夫	317	1.64

(注) 持株比率は、自己株式(1,667,879株)を控除して計算しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (2018.3.31現在)	当期 (2019.3.31現在)	科目	前期 (2018.3.31現在)	当期 (2019.3.31現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	8,636	8,691	流動負債	1,999	1,909
現金及び預金	5,014	5,414	支払手形及び買掛金	540	641
受取手形及び売掛金	937	970	未払法人税等	186	105
有価証券	300	—	賞与引当金	120	86
商品及び製品	2,177	2,078	その他	1,152	1,075
原材料及び貯蔵品	36	27	固定負債	678	553
その他	173	204	繰延税金負債	49	26
貸倒引当金	△3	△2	再評価に係る繰延税金負債	6	6
固定資産	8,213	7,994	資産除去債務	336	329
有形固定資産	3,076	3,118	リース債務	124	26
建物及び構築物	1,022	1,015	その他	160	164
土地	1,887	1,887	負債合計	2,677	2,463
リース資産	17	0	純資産の部		
その他	149	215	株主資本	16,497	16,604
無形固定資産	49	29	資本金	5,478	5,478
リース資産	38	21	資本剰余金	6,962	6,962
その他	10	8	利益剰余金	5,108	5,214
投資その他の資産	5,087	4,847	自己株式	△1,050	△1,050
投資有価証券	1,050	932	その他の包括利益累計額	△2,325	△2,380
敷金及び保証金	3,400	3,289	その他有価証券評価差額金	113	63
その他	636	624	土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			為替換算調整勘定	31	26
資産合計	16,849	16,686	純資産合計	14,171	14,223
			負債純資産合計	16,849	16,686

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2017. 4. 1～2018. 3. 31)	当 期 (2018. 4. 1～2019. 3. 31)
売上高	16,344	16,231
売上原価	5,012	5,029
売上総利益	11,332	11,202
販売費及び一般管理費	11,092	10,977
営業利益	239	224
営業外収益	135	154
営業外費用	57	71
経常利益	317	307
特別利益	40	9
特別損失	59	61
税金等調整前当期純利益	297	255
法人税、住民税及び事業税	114	91
法人税等調整額	1	△1
法人税等合計	116	90
当期純利益	181	165
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	181	165

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期 (2017. 4. 1～2018. 3. 31)	当 期 (2018. 4. 1～2019. 3. 31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	593	391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142	199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346	△176
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105	413
現金及び現金同等物の期首残高	2,144	2,249
現金及び現金同等物の期末残高	2,249	2,662

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (2019年3月31日現在)

商号	愛眼株式会社
本社設立	大阪市天王寺区大道四丁目9番12号 1961年1月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・サングラスその他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンと写真館を展開しております。
従業員数	722名 (ほか平均臨時従業員数421名)
店舗数	眼鏡店 230店舗 写真館 3店舗
連結子会社	2社

役員 (2019年6月27日現在)

取締役会長	佐々栄治
代表取締役社長	下條三千夫
取締役	菅野忠司
取締役	下條謙二
取締役	佐々昌俊
取締役	森重洋一
取締役	山田吉隆
常勤監査役	叶雅文
監査役	吉岡一彦
監査役	明石敬子

- (注) 1. 森重洋一及び山田吉隆の両氏は、社外取締役であります。
2. 吉岡一彦及び明石敬子の両氏は、社外監査役であります。

株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券1枚
	・500株以上ご所有	30%割引券2枚
	(但し、特別限定品は20%割引)	
[補聴器]	・100株以上ご所有	10%割引券1枚
	(但し、特別限定品は除く)	

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京 市場第一部

<ご注意>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.aigan.co.jp>